

最新観測機器で湖水を調査 洞爺湖水しらべ

洞爺湖の水から地球温暖化について考える「洞爺湖水しらべ」（洞爺湖ビジターセンター・火山科学館主催）が、8月29日、洞爺湖で行われました。児童ら約15人が参加して、洞爺湖の水がどんな状態になっているのかを調べました。

酪農学園大学環境地球化学研究室の吉田磨准教授と学生の皆さんの指導で、湖水の水を採取し、ビジターセンター内で観測機器を使い検査しました。



湖水の水を採取する児童たち

参加者らは、地球環境の最新研究の説明や採水器具などの使い方を学びました。



野菜をトッピングする園児たち

を使ったピザパーティーを開きました。

地元産の小麦「キタモエ」でつくったピザ生地に、両保育所の園児らが育てたトマト・ピーマン・玉ねぎ・なすなどをトッピングしてジオ窯を使ってピザを完成。

園児からは「おいしそう〜!」「おかわり!」の声が聞かれ、パーティーは大好評。大地の恵みを味わい、園児らに笑顔が広がりました。

桜ヶ丘保育所でピザパーティー 大地の恵みを堪能

洞爺湖芸術館で、9月8日～10月4日まで、町内在住の現代水墨画家の高尾桂さん



M200号の屏風絵『岬』の前に立つ高尾桂さん

の作品展「高尾桂の世界」展が開かれました。

秋の特別展として企画され、同館での個展は初めてとなります。

会場には、愛しの刻をテーマに、詩画、額絵、書など56点と日韓友情年2015の賛助作品11点が並べられました。

高尾さんの永遠のテーマである「わらべ」など訪れた人の目を引いていました。

愛しの刻テーマ 「高尾桂の世界」展開催

全国のウォーカー 初秋の洞爺湖を歩く

秋の洞爺湖を歩く第28回北海道ツーデーマーチ（洞爺湖町・日本



元気にスタートする「洞爺湖ぐるっとジオコース」参加者

ウォーキング協会主催）が、9月12日、13日の2日間の日程で、洞爺湖畔を主会場に開催され、全国から2日間で延べ1,019人がエントリーしました。

初日は、ウォーカーらが、薄曇りの中、最長の「洞爺湖ぐるっとジオコース」（40^{キロ}）をはじめ4つのコースで健脚を競いました。

2日目は、あいにくの雨の中のスタート。雨に濡れながらも「伊達・有珠ぐるっとジオコース」（20^{キロ}）を含んだ4コースを懸命に歩き続けました。

まちのわだい

